

原料費調整制度に基づく2026年1月検針分のガス料金について

(群馬地区)

東京ガス株式会社

1. 一般契約料金

各月のご使用量に応じてA～Cの各料金が適用されます。

(消費税込)

1ヵ月のご使用量	料金表A 0～24m ³	料金表B 25～500m ³	料金表C 501m ³ ～
基本料金 (円/月)	759.00	1,296.10	7,612.30
調整単位料金 (円/m ³)	168.33	146.78	134.16
(参考) 12月 調整単位料金	169.28	147.73	135.11

2. 標準家庭における影響

(消費税込)

1ヵ月のご使用量 36m ³ (45MJ/m ³)	2025年 12月	2026年 1月	増減
適用料金(円/月)	6,614	6,580	▲ 34

・標準家庭ガス料金は、ご家庭1件の1ヵ月あたりの平均使用量(2018年度～2022年度の5ヵ年平均)に基づき算定しています。

3. 原料価格の変動

(円/t)

	2025年7月～2025年9月 の平均 (12月検針分)	2025年8月～2025年10月 の平均 (1月検針分)	対前期 差額
平均原料価格(a)	80,590	79,470	▲ 1,120
LNG	84,050	82,880	▲ 1,170
LPG	79,370	78,320	▲ 1,050
基準平均原料価格(b)	54,870		
差額(a-b)	25,700	24,600	▲ 1,100

- ・LNG価格、LPG価格はともに貿易統計値。
- ・平均原料価格と基準平均原料価格との差額(a-b)は100円未満切捨て。

4. 単位料金調整額の算定方法

＜原料価格の変動による単位料金調整額の算定＞

■ 平均原料価格の算定

LNG平均原料価格(貿易統計値)	=	82,880	×0.9206
+ LPG平均原料価格(貿易統計値)	=	78,320	×0.0405
	=	79,471.28	
		↓ (10円未満四捨五入)	
		79,470	円/t

■ 原料価格変動額の算定

79,470	円/t	－	54,870	円/t	=	24,600	円/t
↓ (100円未満四捨捨て)							
24,600 円/t							

■ 単位料金調整額(m³当たり調整額)の算定

単位料金調整額＝	24,600	円	/100円×0.0858 ^{*1}
	=	21.10	円 ^{*2}

*1 変動額100円につき単位料金を0.0858(0.078×1.1)円調整します。

*2 調整額がプラスの時は少数点第3位以下を切り捨て、マイナスの時は少数点第3位以下を切り上げます。

5. 標準家庭料金の算定方法

群馬地区

本体料金(税込)	=	基本料金(1,296.10円)	
	+	調整単位料金(125.68円	+ 21.10 円) ×36m ³
		基準単位料金(税込) ↑	↑ 単位料金調整額(税込)
	=	6,580	円
		・ 本体料金は小数点以下切捨て	

[参考]

原料費調整制度の概要

- ・ 為替レートや原油価格の変動等による原料価格の変動に応じて、毎月ガス料金の単位料金（ガス1m³あたりの単価）を調整する制度です。
- ・ 「基準平均原料価格（54,870円/t）」と「平均原料価格（料金適用月の5ヵ月前から3ヵ月前の3ヵ月平均におけるLNG、LPGの輸入価格より算定）」との差額に基づいて、原料価格の変動100円につき、ガス1m³あたり0.0858円（0.078円に1.1（消費税）を乗じた値）単位料金を調整いたします。
- ・ 原料価格の変動については、LNG、LPGとも貿易統計値によります。
- ・ 料金の大幅な上昇を避けるため、「平均原料価格」が149,570円（調整上限）を超えた場合には、「平均原料価格」は149,570円としてガス料金の調整を行います。